

公表:令和 6年 3月 31日

事業所名 重心児デイサービス Ami

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	2		・子供達にとって良い環境を作れるよう努めていきます。
	②	職員の配置数は適切であるか	4	2		・人員は看護師を多めに配置し子供達の安全・安楽な環境作りを心がけております。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	4	2		・過ごしやすい環境を目指しているが、出来ていない箇所もあるので、都度改善していきたいです。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	4	2		・安全・安楽で過ごせる環境を徹底しております。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	3	2	1	・色々な研修をおこない利用者様の何を伸ばしていきたいのかを明確に提示できるよう努めていきたい。・利用者様の将来の目標を設定し掘下げ、スモールステップで療育していくよう努めている。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6			・些細な意見もしっかり受止め、法人としてできる限り誠意をもって対応していきたい。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	1		・HPにて公開させて頂いております。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		2	4	・今後は第三者機関を作り評価して頂ける環境を作っていきます。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	1		・各種委員会にて研修しております。 ・社外研修へも参加しております。
適切な 支援の 提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	5	1		・アセスメントを大切にし計画を作成しております。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	2	1	・今後整備していきたいと思います。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	3	2	1	・ガイドラインの活用をしていきます。・家族支援の大切さを理解し支援に努めております。

⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	5	1		・計画にそった支援を実践しております。	
⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	1		・日々利用者様の事を考え活動を考えて支援しています。	
⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	2		・週単位で固定しないよう努めております。	
⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	2	3	1	・看護師・訓練士・保育士と連携をとり、個性と尊厳をもった支援をおこなえるよう努めております。	
⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	1	3	2	・前日に課題・報告等を共有し統一した支援がおこなえるよう努めております。	
⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	1	4	1	・終了後はミーティングしていないが、朝のミーティングと共有ノート・lineで情報共有しています。	
⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3	2			
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	5	1		・都度モニタリングし利用者様にとって最良の支援ができるよう努めております。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	1		・管理者・児発管が参加しております。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	5	1		・区役所・保健センターと連携をとり支援の行っております。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	6			・関係機関との連携をしっかりと、安全安楽な環境を提供できるよう努めております。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	5	1		・関係機関との連携をしっかりと、安全安楽な環境を提供できるよう努めております。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5	1		・情報共有を徹底し関係機関との連携をはかり、統一した支援を心がけております。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4	2		・情報共有を徹底し関係機関との連携をはかり、統一した支援を心がけております。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5		1	・沢山の学びの場に参加させて頂いております。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			6	・感染の観点から自粛しておりましたが、利用者様の意思に添い機会を設けておきます。

	⑳ (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	5		1	・オンライン・対面共に参加し勉強させて頂いております。	
	㉑ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5		1	・送迎時・line・電話等で連絡を細目にさせて頂いております。	
	㉒ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	3	1	2		
保護者への説明責任等	㉓ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	1	1	・見学会等で説明させて頂いております。	
	㉔ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	5	1		・実践しております。	
	㉕ 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	1		・些細な事でも相談して頂ける環境づくりを心がけております。	
	㉖ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6			・年に2回～3回の開催をしております。	
	㉗ 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6			・都度適切に対応させて頂いております。	
	㉘ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6			・HPにて公開させて頂いております。	
	㉙ 個人情報の取扱いに十分注意しているか	6			・見学会等で説明させて頂いております。	
	㉚ 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	1		・配慮しつつも利用者様の将来必要と思われる事はしっかり伝えております。	
	㉛ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			3	3	・今後コロナが終息したら実践して
	非常時等の対応	㉜ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	5	1		・実践しております。
㉝ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		5	1		・実践しております。	
㉞ 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか		5	1		・見学会等で確認し、フェイスシートでも記入して頂いております。	

④④	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	3	3		・見学会等で確認し、フェイスシートでも記入して頂いております。
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6			・委員会を中心に研修会を実践していきます。
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3	2	1	・委員会を中心に研修会を実践していきます。
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか		4	2	・該当者無し。 ・身体拘束に当たらない方法を模索し実践しています。 ・保護者様の支援方法を実践しております。

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。